

## 令和3年 熊本高専公開講座

## R言語によるデータサイエンス入門 ～テンソルデータを3Dパズルでマスターする～

ビッグデータ分析や機械学習、ディープラーニングなどでよく用いられるテンソルとは多次元配列のことです。Google社の機械学習用プラットフォームの名前はTensorFlowです。プログラムでテンソルデータを扱うのはかなり分かりづらいものです。

テンソルデータ処理の教育は米国のいくつかの大学では行われていますが、国内では数大学しかなく、これらはどれも大学院レベルの講義です。我々はその基本を分かりやすく学ぶために、3Dパズルを利用した学習支援ツールを作成し、専攻科(学部レベル)の授業で用いるとともに、英文論文誌や国際学会でも発表しています。

今回、機械学習などのプログラミングに興味がある人のために、テンソルデータ概念からR言語での取り扱い方までをeラーニング学習教材を使って講習します。

- **日 程** 11月27日(土) 午前10時～午後3時
- **会 場** Zoomによるオンライン講座  
希望する人は対面講座でも受講できます。  
※対面講座をご希望の方は、マスクの着用、消毒、検温のご協力をお願いします。  
※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、オンライン講座のみになる場合があります。
- **対 象** 社会人(パソコンが使える人)  
先着10人
- **参加費** 無料
- **申 込** 申込フォームからお申し込みください。下記URLからアクセスできます。  
<https://forms.office.com/r/89KqmywX4P>  
または「令和3年度熊本高専公開講座 R言語」でご検索ください。
- **締 切** 11月23日(火)(募集人数になり次第締め切ります。)  
※受講が決まりましたら受講通知書をお送りしますので、「@kumamoto-nct.ac.jp」からのメールを受信できるように設定してください。  
提出された個人情報、今回の講座実施以外の目的に使用いたしません。

問い合わせ

〒861-1102 合志市須屋2659-2 熊本高等専門学校 総務課研究・社会連携係  
☎096(242)6433 FAX096(242)5503

## コロナワクチン接種について

## ■新型コロナワクチン接種希望の人は至急ご相談ください

1・2回目の接種をご希望の方で、予約枠がなく予約できなかった場合は、新型コロナウイルス感染症対策室へご相談ください。

また、12歳到達者を除く1・2回目の接種は、11月末で終了を予定しています。11月は予約枠を大幅に減らし予約受付をしていますので、ご相談は早めをお願いします。

※ご希望の日時での接種ができない場合もございますので、ご了承ください。

○新型コロナウイルス感染症対策室 096(285)7787

## ■コロナワクチンキャンセル待ちの登録を受付中

町に住民票があり、接種日時時点で満12歳以上の接種未了者を対象にキャンセル待ちの登録受付をしています。インターネットからの登録または電話での登録をお願いします。

## 登録方法

大津町ワクチンキャンセルバンク <https://logofom.jp/f/OWmVn>

大津町ワクチン接種コールセンター 0570(666)312(平日午前9時から午後5時まで)



## ■コールセンターの番号が変わります。

3回目接種に向けて、12月からコールセンターの番号を変更します。

大津町ワクチン接種コールセンター ☎096(352)6666(※12月1日から)

11月末まではコールセンターの電話番号は0570(666)312 になりますので、ご注意ください。

## ■マスクの着用・手洗い、消毒の継続のお願い

ワクチン接種の有無に関わらず、継続してマスクの着用や手洗い、消毒の実施をお願いします。国内でもワクチン接種後の感染が確認されています。感染拡大防止のため皆様のご協力をお願いします。

## 「スウェーデンのパパたち」 写真展を開催します

北欧のスウェーデンには、父親と母親合わせて「480日の育児休暇」を取得できる制度があり、このうち「90日」は男性専用となっています。

取得率は男女ともに高いのですが、男性の場合は取得した期間が短く、育児休業を夫婦で平等に分けているのは「14%」に留まります。

「スウェーデンのパパたち」写真展では、自身の子どもと少なくとも6か月間、一緒にいることを選んだお父さんと子どもの姿を写真家のヨハン・ベークマン氏が撮影した写真を展示します。

なぜ父親が子どもたちと一緒にいることを選んだのか、どんな経験を得ることができたのか、そしてその結果として両親と子どもの関係がどうなったのか。

パパと子どもたちの悲喜こもごもな表情とメッセージが織りなす日々の心温まる写真展です。

町では男女共同参画の視点や男性の育休取得がもたらす効果、また、家族のあり方など、さまざまな視点での写真展をご覧いただきたいと考えております。

どうぞ、この機会にお立ち寄りください。

「スウェーデンのパパたち」写真展に関する詳細については、スウェーデン大使館のホームページをご覧ください。

- **実施期間** 11月17日(水)～30日(火)
- **展示場所** 町役場 1階ロビー
- **展示時間** 平日 午前8時30分から午後5時15分  
ただし、11月30日(火)は、午前8時30分から正午まで



©Johan Bävman

スウェーデン大使館 ホームページ

<https://www.swedenabroad.se/ja/embassies/japan-tokyo/current/calendar/swedish-dads/>



## 11月12日(金)から25日(木)は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です

女性に対する暴力をなくす運動は、女性に対する暴力撤廃国際日（11月25日）を含む2週間にわたり全国で展開されています。

暴力は、性別や加害者、被害者の関係を問わず、決して許されるものではありません。その中でも、「配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった者から振るわれる暴力」のことをDV(ドメスティック・バイオレンス)と言います。DVは身体的、精神的、経済的、性的なものなどさまざまな形があり、あらゆる暴力を用いて相手を支配しようとする行為です。

DV被害者は女性だけではなく、近年は男性の被害者も増加傾向にありますが、多くの場合は女性が被害者となっています。暴力は、人権を著しく侵害する重大な問題です。

女性に対する暴力根絶には、私たち一人ひとりが「暴力は絶対に許されない」という意識と正しい認識を持ち、行動することが必要です。

男女が社会の対等なパートナーとしてさまざまな分野で活躍するためには、その前提として女性に対する暴力はあってはならないことなのです。加害者と被害者を生まないために、この運動期間をきっかけに暴力や人権尊重について考えてみませんか。



パープルリボン

### 女性に対する暴力根絶運動のシンボル

暴力や虐待の被害者にとって、より安全な世界をつくることを目的として、1994年にアメリカで生まれました。

問い合わせ

役場人権推進課 男女共同参画推進係 ☎096(293)0863

## 『人権問題が職場や家庭で話題となる日常生活を』

● 講師 菊陽町地域人権教育指導員

むらかみ しゅうせい  
村上 秋成氏



● 配信期限 11月30日(火)まで (予定)

● 視聴は町HPまたは公式YouTubeチャンネルより

これまで人権啓発福祉センターで開催していました「秋期講座」を本年は「WEB開催」で実施します。  
これまで学校で学んだ認識がくつがえる事実や、日常で出会う問題に気づく事が出来るかもしれません。  
たくさんのご視聴お待ちしております。

問い合わせ

町人啓発福祉センター ☎096(293)7920

## 人権を考える みんなのつどい

新型コロナウイルス感染症対策として、今回は会場参加とオンラインを併用したイベントを開催します。講演会のテーマは「多様な性 (LGBTQ)」についてです。皆さんの参加をお待ちしています。



● 期 日 12月4日(土) 午前9時30分(開会)

● 場 所 町生涯学習センター 文化ホール

● 内 容 オンライン講演会

男女共同参画フォト・ポスターコンテスト表彰式ほか

● 講 師 眞野 豊 氏(鳴門教育大学大学院学校教育研究科准教授)



**入場・視聴は無料ですが、事前に予約が必要となります。予約は町HPから**

問い合わせ

役場人権推進課 ☎096(293)0863